

五十嵐プロジェクト(H18年度)

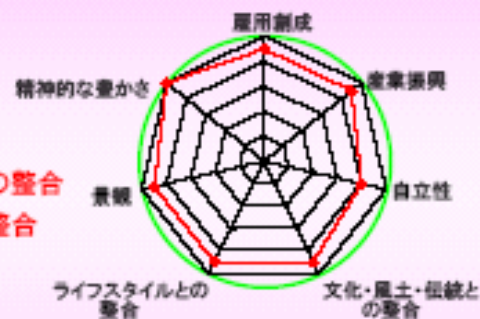
「地域完結型地燃料システムの構築と運営」

- ・バイオマス資源の限られている日本においては農産系未利用資源(イネワラ、モミ等)等からバイオエタノールを生産する技術開発
- ・地域内のバイオマスの収集から生産、流通までのシステムを構築して運営する地域の共通基盤(プラットフォーム)を構築
- ・この共通基盤では、関係府省で開発した要素技術を適宜組み入れ、府省連携型バイオマス利活用システムの実験が可能
- ・平成17年度課題との連携を重視



「地域適合性」を如何に評価するか

雇用創成
産業振興
自立性
文化・風土・伝統との整合
ライフスタイルとの整合
景観
精神的な豊かさ



「地域適合性」=円と七角形の面積比?

持続可能なバイオマス利活用の総合的設計・評価手法の確立



実証試験設備



糖化・発酵



蒸留

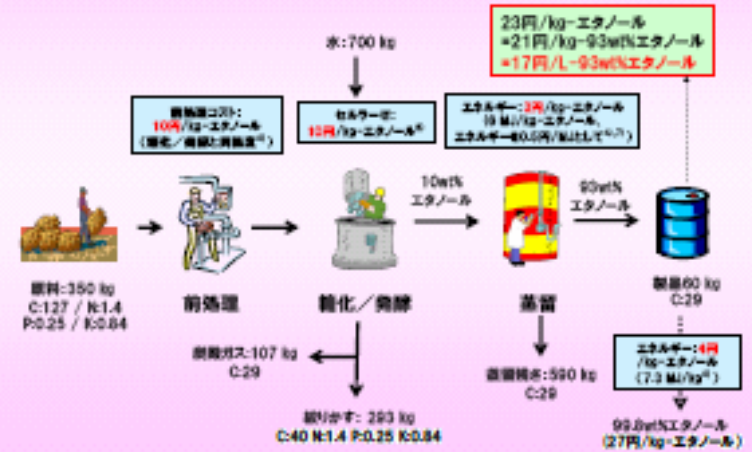


実験棟

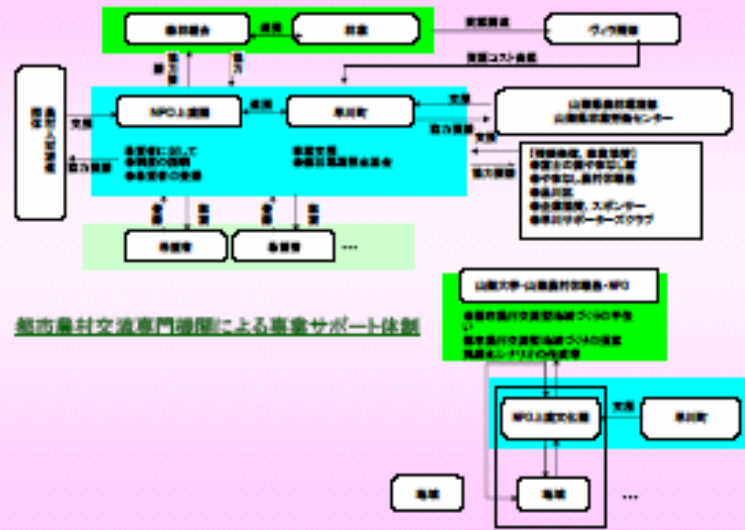
エタノール車(FEV)



プラントコスト評価



具体事例: 山形県早川町の都市住民参加による木質バイオマス活用スキーム



地燃料プロジェクトの目標

- 「地燃料」という考え方の提案
 - エネルギーの地産地消、地域未利用資源の活用
- 「地燃料」を生産・活用するシステム作り
 - 地域完結、地域内資源循環を念頭に
- 「地燃料」システムを支える技術開発
 - 地域のバイオマスから効率よく燃料を生産
- 「地燃料」と地域社会、「地燃料」と環境保全
 - 農林業との連携、観光産業との連携、行政との連携・・・
 - 地域環境からグローバルな環境問題まで